

事業番号	事務事業名	心配ごと相談事業費	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
01040	政策名	1	ころあたたかい福祉の里づくり	係名	福祉係	担当者・シート作成者
	施策名	13	地域福祉の推進	根拠法令等	鏡野町心配ごと相談事業実施要項	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	相談員が町民の様々な問題の解決に努める。 ・相談日 鏡野地域:毎月第2、第4火曜日 奥津、上齋原、富地域:隔月第2水曜日 ・相談員を委嘱(人権擁護委員及び民生児童委員 3年、行政相談員 2年)し、相談日程を決める。広報誌等に日程を掲載し、相談日には相談員の方に実施してもらう。	町民に安心して生活していただけるよう以前より類似の事業を行っていたが、平成17年の合併により「鏡野町心配ごと相談事業実施要綱」を基に町全体の基準を統一して行っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込 実績	12,435 12,926	12,285 12,754	12,143 12,625	11,970	11,800
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 諸問題や悩み事を解決してもらう	ア 相談件数	件	目標 実績 達成率	28 26 92.9%	28 25 89.3%	28 26 92.9%	28	28 92.9%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 心配ごと相談	ア 開催回数	回	目標 実績 達成率	42 42 100.0%	42 42 100.0%	42 42 100.0%	42	42 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	03	項	01	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号	
	一般会計		民生費		社会福祉費		社会福祉総務費		18	01	心配ごと相談事業費				01040	
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	1,239	1,240	1,216	1,230	1,230	-24	一般財源	1,152	1,134	1,175	1,175	1,175	41			
合計	1,239	1,240	1,216	1,230	1,230	-24	合計(A)	1,152	1,134	1,175	1,175	1,175	41			
財源名称	従事正職員人数						4	4	4	4	4	4				
	延べ業務事務時間						80	80	80	80	80	80				
	人件費計(千円)(B)						271	280	267	268	268	268	-13			
最終予算額		1,216 千円		予算執行率		96.6%		トータルコスト(A+B)		1,423	1,414	1,442	1,443	1,443	28	
主な 支出事業内容 (予算)	報償金						1,109 千円						報償金		1,078 千円	
	手数料						30 千円						手数料		20 千円	
	委託料						77 千円						委託料		77 千円	
												主な 支出事業内容 (決算)				

事業番号	01040	事務事業名	心配ごと相談事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	-----------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
地域社会の構造の変化により全体の相談件数はやや減少傾向にあるが、年2回の巡回法律相談では多くの相談が寄せられている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
広報紙への掲載や折込チラシ、振興センターでは音声放送で住民に周知を図っている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
話を聞いてもらえてすっきりしたという意見がある一方で、町内の相談員、特に知っている人には相談しづらいという意見も寄せられている。(他地域の会場に向かう方もある)

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	困っている住民の問題解決の場となっており、地域福祉の推進に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	町民のプライベートな問題であるため、町が行うべきである。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	町民全体が対象のため、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	近年一度訪れた相談者からの口コミを聞いての訪問や、数度に渡る相談も増えている。親身に相談にのることにより、安心して相談できる場として定着していくものと考えている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	困っている住民の相談・問題解決の場が減ってしまうため、影響がある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	弁護士による巡回法律相談の際には大勢の相談があること、町内の知っている人には相談しづらいという意見があることから、より専門的なアドバイスの場を増やしたり、町外の方に話を聞いてもらう場を設けることで成果をより向上させることが考えられる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	必要最低限で行っているため、削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	必要最低限で行っているため、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町民全体が対象のため、適切である。	

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	町民の悩み事を解決することは、心身の健康にもつながり、必要な事業である。近年は相談内容が複雑・多様化しているため、弁護士・司法書士・行政書士等の相談会や相談内容によっては福祉や介護などの社会資源の橋渡し役となることも大切な役割と感じている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 弁護士等の専門相談の場の確保と心配ごと相談の場で完結するのではなく、福祉や介護等の社会資源を紹介し、橋渡し役となれるよう支援していく。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)